

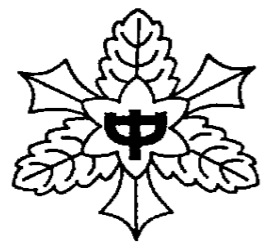
# 令和8年度 各教科

## 年間指導計画と評価の観点

### 第3学年

- 国語科
- 社会科
- 数学科
- 理 科
- 英語科
- 音楽科
- 美術科
- 保健体育科
- 技術・家庭科

本校の観点別評価「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に取り組む態度」の割合は、全教科1:1:1となります。



令和8年度 国語科 3学年 年間指導計画

ひよどり山中学校

月	時数	単元(教材)	学習内容	指導の工夫点
4	2	授業開き／春に／見えないだけ	●1年間の授業計画を説明して、確認する。言葉の中の春を読む。	
	3	立ってくる春	●表現上の工夫とその効果に注意して読み、表現の魅力を味わう。	
	3	なぜ物語が必要なのか	●文章の種類と特徴について理解を深める。	
5	2	情報を確かめてスピーチする	●言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。	
	5	私	●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。	
	3	薔薇のボタン	●目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	
6	3	構成を工夫して主張をまとめる	●社会生活の中から自分で課題をみつけ主張をまとめる。	
	2	メディアリテラシーはなぜ必要か？	●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。	
	1	漢字の広場1	●漢字の音の歴史について理解を深める。	
7	5	AIは哲学できるか	●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を述べる。	
	5	客観性や信頼性のある記事を書く	●読み手に説明するために構成を工夫する。	
9	3	async——同期しないこと	●事例と主張とを関係づけて読む。	
	3	問いかける言葉	●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。	
	4	説得力のある批評文を書く	●資料を比較して自分の考えを整理する。	
10	2	文法の小窓2	●助動詞の働きについて理科する。	
	1	言葉の小窓2	●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語の働きについて理解する。	
	3	実用文の情報を捉えて生かす	●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	
11	5	旅への思い	●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	
	4	和歌の調べ	●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。	
	4	風情と心情	●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。	
12	3	最後の一句	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	
	1	漢字の広場3	●異字同訓について理解を深める。	
	1	言葉の小窓3	●慣用句とことわざの働きや使い方を理解する。	
12	3	俳句の味わい	●言葉の意味を掘り起こして読む。	
	1	初恋	●表現上の工夫に注意して暗唱する。	
	7	故郷	●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。	
12	2	自己PR文を書く	●読み手を意識して適切な言葉を選ぶ。	
	2	評価しながらスピーチを聞く	●場の状況に応じて伝わりやすくなるように表現の工夫をする。	
	2	漢字の広場4	●四字熟語について理解を深める。	
3	書写	●漢字の行書と仮名を調和させて書く。	動画を活用して	

				筆順や筆遣いを確認する。
1	4	持続可能な未来を創る	●持続可能な社会の実現に向けて自己変容を通じて未来を考える。	
	2	意見を共有しながら話し合う	●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。	
2	3	バースデイ・ガール	●	
	3	青春の歌	●表現の特徴を捉えてながら読み、自分の感想を述べる。	
3	1	やわらかな想い		
	3	中学校生活をまとめて作品集を作る	●哲学的な考えに対して、自分の考えを深め、3年間の学びをふりかえる。	

令和8年度 国語科 3学年 評価計画

観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知能・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	言葉の意味を適切に理解し、使うことができている。 語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。	・ノート ・漢字テスト ・音読テスト ・提出物 ・定期考査
思考・判断 表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	作品を通して作者の考えを捉え、自分の考えをまとめることができる。 わかりやすく伝わるように、文章の構成を工夫することができる。	・ノート(自分の考えを述べることができる。) ・スピーチ ・発言 ・聞き取りテスト グループ討議(自分の意見と他の人の意見を比べ発展させることができる。) ・作文(論理の展開や話の構成を工夫することができる。)
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。	積極的に発言し進んで学習課題に取り組むことができる。	・ノート ・ワークシート ・音読カード ・定期考査 ・発言 ・授業態度
<p>《補足》</p> <p>*ノート・ワークシートなどに自分の意見や感想、他の人の意見などをまとめたり、記録したりすることで考えを整理したり深めたりする。</p> <p>*学習した語句や漢字を作文において適切に使うことができる。</p>			

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点	
1 学期	5 6 6 6 11 6 10	【歴史的分野】			
		第一次世界大戦と民族自決	大正時代・揺れ動くヨーロッパ列強	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。</li> <li>・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示</li> <li>・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用</li> </ul>	
		大正デモクラシー	大正時代・政治参加を求める国民の動き		
		恐慌から戦争へ	昭和時代初期・世界恐慌と各国の動き		
		第二次世界大戦と日本の敗戦	昭和時代前期・連合国と枢軸国の争い		
		日本の民主化・経済成長と冷戦	昭和時代戦後・GHQによる間接統治と新憲法 高度経済成長とイデオロギーによる対立		
		グローバル化が進む世界	現代・冷戦後の世界とこれから		
		【公民的分野】			
		現代社会と私たち			
		2 学期	21 22 17 11 12		【公民的分野】
人権と日本国憲法	人権の歴史と日本国憲法の特徴 憲法に含まれる権利について				<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。</li> <li>・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示</li> <li>・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用</li> </ul>
現代の民主政治と日本の政治	民主主義について・選挙の仕組み・国会・政党 世論を動かす媒体について・裁判の仕組み 地方自治について				
消費生活と日本経済	消費生活と生産を支える企業・市場経済の仕組み				
3 学期	11 16 3	【公民的分野】			
		財政・社会保障と日本経済	生活と財政・租税について・社会保障について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集をきちんと開かせるとともに、記載されている各種資料の読み取りを行う。</li> <li>・ICT機器を活用した調査活動や画像などの資料提示</li> <li>・昨今の社会情勢などを示した新聞記事などの活用</li> </ul>	
		国際社会が抱える課題と私たち	国際社会における国家・国と国をつなぐ国際機関 地域主義の動き・新興国の動きと格差問題 日本が抱える外交上の問題 世界とつながる日本・世界平和を目指して		
私たちが未来の社会を築く	社会科の学びを持続可能な社会の形成につなげる				

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	<p>【歴史的分野】 近現代の日本や世界で起きた歴史的事象について、基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、近現代の歴史的事象について、写真や映像資料、統計資料などから読み取る。</p> <p>【公民的分野】 現代社会における、政治や経済、国際社会と日本とのかかわりなどの社会的事象について、基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、日々起こる社会的事象の背景などについて各種資料から読み取る。</p>	<p>【歴史的分野】 近現代の各時代の歴史的事象を大まかに把握し、必要な知識を身につけているとともに、写真や映像資料、統計資料などから、近現代の歴史的事象の特徴を読み取っている。</p> <p>【公民的分野】 日本の民主政治や経済、国際社会と日本とのかかわりについて、具体的な事例を通して理解し、その知識を身につけているとともに、日々変化する現代社会の特徴について、写真や統計資料などからの確に読み取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・プリントの記入内容</li> <li>・毎回の授業ごとに記入したチェックシートの記入内容</li> <li>・ワークブックの取り組み</li> </ul>
思考・判断・表現	<p>【歴史的分野】 近現代の各時代ごとのできごとの背景について、写真や統計資料などから考察そして追究する。</p> <p>【公民的分野】 現代社会の各事象の特徴や変化に気づくとともに、対応の仕方について、社会的な見方・考え方を働かせて、考察・追究しながら、自分の考えを表現する。</p>	<p>【歴史的分野】 各時代ごとのできごととに潜む背景を、各種資料などを用いて考察し、追究しようとするとともに、キーワードとなる語句を使って説明している。</p> <p>【公民的分野】 政治や経済、国際社会と日本との関わりなど社会的事象に対し、社会的な見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、追究しようとするとともに、キーワードとなる語句を使って説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業や探究活動での発表</li> <li>・ワークシートに記入した感想の内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<p>【歴史的分野】 近現代の日本や世界で起きた歴史的事象について関心をもつとともに、自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもつ。</p> <p>【公民的分野】 現代社会で起きている問題について、主体者意識で関心をもちながら、意欲的に追究しようとする。</p>	<p>【歴史的分野】 各時代の特徴についての歴史的事象に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【公民的分野】 政治や経済、国際社会と日本とのかかわりなどの学習を通して、将来の主権者や納税者として、社会全般に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業に対する取り組み(授業態度・発言内容等の授業内評価)</li> <li>・チェックシートの記入内容</li> <li>・各種提出物の内容</li> </ul>

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)  
 ・授業規律(授業遅刻しない・忘れ物をしない・私語等をしない・タブレットの使い方)を守る。  
 ・授業中は集中して話を聞き、プリントへの記入をしっかりと行う。  
 ・授業の「学び」を確かなものにするため、チェックシートで授業のふり返りを行う。  
 (授業内に終わらなければ、家庭学習で行ってもよい)  
 ・家庭学習では、授業で学んだ内容(プリント・教科書を中心に読み返すなど)の復習を推奨。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	13	1章 式の展開と因数分解	1 節 式の展開と因数分解	机間指導による個別対応
	4		2 節 式の計算の利用	
	2		章末問題	生徒自身で、数学的な考えを発表する場を多く設定し、考えを共有し深める。
	6	2章 平方根	1 節 平方根	
	7		2 節 根号をふくむ式の計算	
			3 節 平方根の利用	
			章末問題	
	8	3章 二次方程式	1 節 二次方程式	
4	2 節 二次方程式の利用			
2	章末問題			
2 学 期	7	4章 関数 $y=ax^2$	1 節 関数とグラフ	グループ学習などにおいて、生徒自身が根拠を明確にし、人に数学的に説明をする場を創造する。
	5		2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化	
	3		3 節 いろいろな事象と関数	
	2		章末問題	「なぜ?」「どうして?」という疑問のアンサーを全体で考えるとともに、クラスで共有し、より一層数学的な考え方を深める。
	9	5章 図形と相似	1 節 図形と相似	
	7		2 節 平行線と線分の比	
	5		3 節 相似な図形の計量	
	2		4 節 相似の利用	
	2		章末問題	
	4	6章 円の性質	1 節 円周角と中心角	
3	2 節 円の性質の利用			
3 学 期	2		章末問題	個々人の学力を高めるため、個別に課題を設定し、より上にくいたためのきっかけ作りを行う。
	3	7章 三平方の定理	1 節 直角三角形の3辺の関係	
	7		2 節 三平方の定理の利用	
	2		章末問題	
	5	8章 標本調査とデータの活用	1 節 標本調査	
2	章末問題			

合計118時間(予備時数 22時間) 【年間標準時数】140

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式を使った式の展開や因数分解を進んで取り組もうとしている。</li> <li>平方根の問題を進んで取り組もうとしている。</li> <li>二次方程式を進んで解こうとしている。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> に関心をもち、特徴を調べようとしている。</li> <li>相似な図形に関心をもち、進んでその性質を調べたり、考えたりしようとしている。</li> <li>三平方の定理に関心をもち、問題を進んで解こうとしている。</li> <li>標本調査に関心をもち、それについて進んで考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開や因数分解を意欲的に解かせる。</li> <li>平方根の計算を意欲的に解かせる。</li> <li>二次方程式を意欲的に解かせる。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の関係や放物線を描く事象に関心をもちさせる。</li> <li>相似な図形の性質や平行線と線分の比について調べようとする。</li> <li>直角三角形の3つの辺の関係を調べようとする。</li> <li>標本調査に関心をもちさせる。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>小テスト</p> <p>テスト直しシート</p>
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形の性質を説明することができる。</li> <li>有理数と無理数の性質を説明することができる。</li> <li>二次方程式を利用して問題を解決できる。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の関係を見だし、問題を解決することができる。</li> <li>三角形の相似条件を用いて証明ができる。</li> <li>問題から直角三角形を見だし、三平方の定理を用いて考えることができる。</li> <li>身近な問題の解決のために、標本調査を行い、傾向を説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開や因数分解を問題に利用できる。</li> <li>数のしくみを考察することができる。</li> <li>二次方程式を使って問題を解決できる。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> について、変化の割合や式、グラフを捉えることができる。</li> <li>いろいろな図形の性質を考察できる。</li> <li>問題から直角三角形を見出し、三平方の定理を活用する工夫ができる。</li> <li>身近な問題の解決のために、標本調査を行うことができる。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解と式の展開と関連付けて理解している。</li> <li>式の展開やいろいろな因数分解ができる。</li> <li>平方根の意味を十分に理解している。</li> <li>根号をふくむ式の計算ができる。</li> <li>二次方程式の解き方を十分に理解している。</li> <li>二次方程式を解くことができる。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の特徴を十分に理解している。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> のグラフや式や表をかくことができる。</li> <li>相似の意味、相似な図形の性質、三角形の相似条件、比の性質、中点連結定理について理解している。</li> <li>相似であることを記号を使って表したり、相似比や対応する辺の長さを求めることができる。</li> <li>三平方の定理の意味を十分に理解している。三平方の定理を用いて、いろいろな線分の長さを求めることができる。</li> <li>標本調査の方法や手順を十分に理解している。標本調査の結果を表やグラフなどを用いて、表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式を活用することができる。展開や因数分解をすることができる。</li> <li>平方根の意味を理解することができる。</li> <li>平方根の計算をすることができる。</li> <li>二次方程式の解き方を学び、解くことができる。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> の特徴を十分に理解する。</li> <li>関数 <math>y=ax^2</math> のグラフや式や表をかくことができる。</li> <li>相似の意味、三角形の相似条件、比の性質、中点連結定理を理解する。</li> <li>相似な図形の性質を使って、いろいろな線分の長さを求めることができる。</li> <li>三平方の定理を理解する。三平方の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</li> <li>標本調査の手順を学び、標本調査を行うことができる。</li> </ul>	<p>授業において課題を見つけて改善するための行動をとっているか</p> <p>課題の内容</p>

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)

- 授業のあった日に必ず復習をする。  
→学習した内容を思い出す。無理ならノートを見る。授業で学習した問題をやり直す。
- 何が分かればよいか、どうすればよいか、根拠を明確にし、説明できるような学習をする。人に説明する機会を多く作り、理解を深める。
- 普段の生活と数学の学習を関連させる。
- 努力を継続する。

令和8年度 理科 3学年 指導計画 八王子市立ひよどり山中学校 担当:坂爪・國島

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	20	【生命】 生命の連続性	1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	・実験、観察、学び合い活動などでの班活動
	20	【物質】 化学変化とイオン	1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン	・実験レポートの活用
	5	【地球】 宇宙を観る	1章 地球から宇宙へ	・ICT機器を活用した画像や動画などの資料の提示
2 学 期	10	【物質】 化学変化とイオン	3章 酸・アルカリとイオン	・観察活動では、一人ずつが観察に取り組めるような環境・設備づくり
	35	【エネルギー】 運動とエネルギー	1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	・実技テスト (顕微鏡などの実験器具)  ・単元学習終了時に小テストを行う
	10	【地球】 宇宙を観る	2章 太陽と恒星の動き	・3年間の復習として小テストを行う
3 学 期	25	【環境】 自然と人間	1章 自然界のつりあい 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	
	5	【地球】 宇宙を観る	3章 月と金星の動きと見え方	
	10	【高校入試対策】		

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動とエネルギー、生命の連続性、自然界のつりあい、化学変化とイオン、身近な天体とその運動について、日常生活や社会と関連付けながら、理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト ・実験器具の実技テスト ・実験、観察の様子
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解・し、表現するなど、科学的に探究している。	運動とエネルギー、生命の連続性、身近な自然界とのつながり、化学変化、地球と宇宙、について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、日常生活と関連付けてその結果を分析して解釈し、規則性や関係性、量的な関係を見いだして表現している。	・授業プリントの記述 ・定期考査 ・レポート提出 ・授業への取り組みの様子
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	運動とエネルギー、生命の連続性、身近な自然界とのつながり、化学変化、地球と宇宙に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	・授業プリントの記述 ・完全学習などの課題の取り組み状況 ・授業への取り組みの様子 ・定期考査前後での確認シート

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)

- ・実験や観察の器具や手順をよく理解しましょう。そして安全に取り組みましょう。
- ・章や単元が終わったら、プリントや完全学習、整理と対策を使って復習しましょう。
- ・問題を解いてみて分からないことは友達や先生に質問をしたり、調べたりしてみてください。
- ・整理と対策に準拠した小テストを実施します。実施計画を参考にしてください。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
4	7	Lesson 1	Join Us 現在完了形復習	*年間を通して、授業の初めにペアワークなどのウォーミングアップ活動を行う。 *ALT との TT で授業を行う際には、原則英語のみで行う。 *Lesson ごとにパフォーマンステストや単元別テストなどを実施する。 *定期テストごとにノートを回収し、点検する。 *学期に1回、スピーチを行う。
5	1	Take Action!Listen 1	電車の運行情報	
	1	Take Action!Talk 1	電話でのお誘い	
	12	Lesson 2	The Power of Music 現在完了形進行形、使役動詞、 It is ... for A to ~.	
6	1		遊園地の園内放送	
	1	Take Action!Listen 2	話し合い	
	10	Take Action!Talk 2	Cranes for Peace 受動態	
7	4	Lesson 3	旅行プランの提案	
	6		What Makes Music?	
8	12	Project 1	Bollywood Movies	
~		Reading Lesson 1	後置修飾、be glad to ...	
9	1	Lesson 4	バスのアナウンス	
	1		解決策の提案	
	12	Take Action!Listen 3	Translating Culture 関係代名詞(主格)、	
10		Take Action!Talk 3	I want you to	
	1	Lesson 5	ラジオニュース	
	1		話し合い	
	10		Being Fair	
11		Take Action!Listen 4	関係代名詞(目的格・接触節)	
	4		ラジオの30秒CM	
	6	Take Action!Talk 4	I Have a Dream	
12	12	Lesson 6	Design for Change 仮定法	
	1	Project 2	国立公園の注意事項	
1	1	Reading Lesson 2	スキーツアー	
	12	Lesson 7	For Our Future 間接疑問文	
	1	Take Action!Listen 5	市民ホールイベント	
2	4		10年後の自分へのメッセージ	
~	6	Take Action!Read 1	Learning from Nature	
3	12	Lesson 8	中学校の総復習	
		Take Action!Read 2		
		Project 3		

	Reading Lesson 3 中学校3年間のまとめ		
--	--------------------------------	--	--

3学年 年間評価計画 教科担当 井上 志穂・山下 和樹・野口 遼太・中島 亜由子

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	比率
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことに よる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	・教科書の内容や関連する文法を理解する。 ・単語、文法事項を正しく理解する力を育成する。 ・相手の意図することを正しく理解する力を育成する。	・定期テスト ・単元別テスト ・パフォーマンステスト ・スピーチ ・単語テスト ・スペコン ・小テスト など	1対
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	会話、あるいは英文を通して、英語で表現できる力を育成する。	・定期テスト ・単元別テスト ・パフォーマンステスト ・スピーチ ・小テスト など	1対
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	他人との関わりを言語、あるいは行動を通してきちんと取る力、及びその態度を育成する。	・授業中の取り組み方 ・課題、ノートの取り組みの内容 など	1対

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	随時	発声および楽典(復習) 歌唱「花」	《歌唱》 ・発声の基礎を確認し、歌唱表現に活かす。 ・混声合唱のパートの役割を意識し、表現を工夫しながら歌う。 ・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら取り組む。	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入  《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。
	2	歌唱(混声3部合唱) 「旅立ちの時」	・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら取り組む。	《プリントの活用》 ・歌唱や楽典、鑑賞の知識を確認するために活用する。
	3	リズムアンサンブル 鑑賞 雅楽「越天楽」	・楽譜の読み取りに必要な楽典を復習し、表現に活かす力をつける。	《実技テストの実施》 ・歌唱やリズムのテストを行う。
	随時	合唱コン(自由曲)	《鑑賞》 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて学習し、音楽がどのような役割を担っているのかを考察する	《実技テストの実施》 ・歌唱やリズムのテストを行う。
	1 2	合唱コン(自由曲)のレポート	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠を考える。	
夏の課題				
2 学 期	6	合唱コンクールへ向けて (課題曲・自由曲)	《歌唱》 ・発声の基礎を確認し、歌唱表現に活かす。 ・混声合唱のパートの役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う。 ・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら合唱曲を仕上げる。	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入  《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。 ・楽典を継続して行い、表現するための思いや意図を持つ。
	随時	発声および楽典	・楽譜の読み取りに必要な楽典を復習し、表現に活かす力をつける。	《プリントの活用》 ・楽典の知識を確認するために繰り返し活用する。
	6	器楽 (アルトリコーダー)	《器楽》 ・アルトリコーダーで、身に付けた技能を活用しながらアンサンブルを行う。	《実技テストの実施》 ・合唱曲のまとめとしてテストを行う。
	2	鑑賞「モルダウ」	《鑑賞》 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて学習し、音楽がどのような役割を担っているのかを考察する	
	2	鑑賞 能「敦盛」	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠を考える	
2	卒業へ向けての準備 (混声4部合唱)			
3 学 期	3	鑑賞 「日本の伝統芸能」	《歌唱》 ・発声の基礎を学び、歌唱に活かす。 ・混声合唱のパートの役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌う。	《学習記録カードの活用》 毎時の目標と自己評価の記入  《グループ活動》 ・合唱パート別による活動。リーダーを中心に練習する。
	2	「世界の音楽」	・パート練習を通して、互いに協力し、助言し合いながら取り組む。	・楽典の知識を互いに確認し合う。
	4	音楽史を学ぶ	・楽譜の読み取りに必要な楽典を学習し、表現に活かしていく。	
	随時	卒業式に向けて (混声4部合唱)	《鑑賞》 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠を考える	《プリントの活用》 ・楽典の知識を確認するために繰り返し活用する。

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	割合
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造とその関わりを理解する。</li> <li>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解する。</li> <li>・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解する。</li> <li>・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 実技テスト</li> <li>・ ワークシートの内容</li> </ul>	1/3
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現の創意工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲や演奏に対する評価とその根拠について考える。</li> <li>・生活や社会における音楽の意味や役割について考える。</li> <li>・音楽表現の共通性や固有性について考える。</li> <li>・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業及び練習態度</li> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 実技テスト</li> <li>・ 課題への取り組み内容</li> <li>・ ワークシートの内容</li> </ul>	1/3
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱では、歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいを感じとり、旋律と言葉との関係に関心をもつ。</li> <li>・鑑賞、創作では、音色や音の重なり方等の違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情の変化に関心をもつ。</li> <li>・器楽では、楽器の構造や奏法による音色等の違いに関心をもつ。</li> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業及び練習態度</li> <li>・ 出席の状況</li> <li>・ 遅刻・忘れ物の回数</li> <li>・ 課題への取り組み内容</li> <li>・ ワークシート提出及び内容</li> </ul>	1/3

※学習のアドバイス

- ・授業規律(授業遅刻・忘れ物・私語等をなくす)を守る。
- ・授業に集中し、目標を持って取り組む。
- ・特に実技に関しては、失敗を恐れずに、積極的に粘り強く、継続して取り組む。
- ・わからないことは自ら確認する(しっかり発言し、意思表示をする)。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学期	1	導入	1 ガイダンス (1)心の表現としての美術 <b>鑑賞教育</b>	楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度の育成を鑑賞分野をまとめ導く。 (目標の提示) 自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる目と心を鑑賞の能力とともに育成。 →(教科書、資料集を利用した解説→各自プリントにまとめていく)
	3 随時	鑑賞	(2)絵画から読み取る作家の心【情モ】 ・絵画から読み取る画家の心、メッセージ。	
2 学期	8	デザイン	2 実技(透視図・投影図) テーマ:「街」 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊に発想し構想する能力や作図における基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心をもち、創意工夫し美しく表現する能力を育てる。	<b>実技</b> →透視図の基礎 投影図の基礎 (デザイン) (構図の基礎) 絵画の基礎となる視点について解説を行う。
	1 10 1 3 1	鑑賞 木彫(鎌倉彫りの基礎) 転写技法 片切彫りの基礎 刃物の安全な使用法	1 鑑賞<友達の作品を鑑賞しよう> 2 実技<木彫> 「鎌倉彫:木彫壁かざり」 * テーマ:植物→構成の仕方。 * トレーシングによる転写。 * 刃物の作りと安全な扱い方。 * 彫刻刀の扱い方と安全な管理。 * 片切彫りの基礎。 * サンドペーパーによる仕上げ	・鑑賞→互いの作品、表現のよさ個性の尊重 ・日本の伝統工芸に学ぶ日本のすばらしさ。 ・刃物の安全な扱い方 ・自然を観察する目と心の育成 ・木彫(鎌倉彫)の基礎の習得 ・デザイン構成力の基礎と応用
3 学期	1	鑑賞	* 日本の伝統工芸 * 漆塗りの基礎	資料集・プリントによるまとめ。
	6 随時	木彫(塗装の基礎) 鑑賞	* 仕上げと塗装(準備と片付け) * 塗料の性質の理解(エコ)  鑑賞<おおり展・都展・校内作品展> * 友達や先輩の作品に学ぼう	プリントによる解説と実践。  ・おおり展見学

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる鑑賞の能力を持ち、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。</li> <li>感性や想像力を働かせ、自然や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じとる鑑賞の能力を持ち、生活を美しく豊かにする美術の働きについての理解や見方を深めたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察したことや考えたことを基にして、表し方の工夫をして構成することができる。</li> <li>表現意図に応じて、材料や用途の特性、生かし方などを総合的に考え、表現方法を選択し工夫して主体的に表すことができる。</li> <li>いきいきと美しく表す構想を練ることができる。</li> <li>作者(作家)の心情や意図、表現の工夫などを感じ取り、理解することができる。</li> <li>修学旅行を通して、日本文化、伝統芸術への興味関心を高め、知識を深めることができる。</li> </ul>	<p><b>鉛筆による素描</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画面構成の基礎</li> <li>色彩構成の基礎</li> <li>鉛筆の使い方(明度表現)</li> <li>自由課題の提出 など</li> <li>文章から読み取れる情景の表現</li> </ul> <p><b>定期考査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト(プリント等)</li> <li>筆記テスト「鑑賞」</li> <li>鑑賞レポート</li> <li>作品制作</li> <li>提出物 など</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性や想像力を働かせて、伝えたい内容、見る者の気持ちなどを基に造形的な美しさなどを総合的に考えわかりやすく伝える表現の構想を練っている</li> <li>感性や想像力を働かせて、自分の姿を深く見つめ感じ取ったこと、考えたことなどを基に、主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然や身の回りのものの良さや美しさなどを深く感じ取ることができ、想像力を働かせ、それを豊かに広げることができる。</li> <li>いきいきと美しく表す構想を練ることができる。</li> <li>自然や造形作品などの良さを深く味わうことができ、美術と人間との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度(資料収集)</li> <li>取り組み態度</li> <li>作品制作</li> <li>文章から読み取れる情景の表現</li> <li>実技テスト(プリント等)</li> <li>提出物 など</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術に興味関心を持ち、心の表現としての美術、絵画から読み取れる画家の心、メッセージを伸びやかな発送をもって感じ取るうとしている。</li> <li>楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情と、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術に興味関心を持ち、心の表現としての美術、絵画から読み取れる画家の心やメッセージを伸びやかな発送をもって感じとれる感性を身につけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度・取り組み姿勢</li> <li>出席の状況</li> <li>遅刻・忘れ物の状況</li> <li>提出物(内容・技術習得)</li> <li>定期考査への取り組み</li> <li>美術館鑑賞等(自由課題)</li> <li>授業プリント作成における取り組み姿勢</li> <li>修学旅行事前学習・事後学習</li> </ul>

※学習のアドバイス(授業・家庭学習への取り組み・学習方法・課題への取り組みの例)

- ・授業規律(授業遅刻・忘れ物・私語等)をしっかり守る。
- ・自然や身の回りのものの良さや美しさなどを深く感じ取り、課題に適した資料を自ら収集する。
- ・鑑賞プリントで各単元の振り返りを行い進んで文化レベルを高める。
- ・副教材「美術資料」を活用して各分野の復習をする。
- ・修学旅行を通して、日本文化、伝統芸術への興味関心を高め、理解する。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学期	9	体づくり運動 体力測定	体ほぐしの運動 体力を高める運動 ラジオ体操 など ※心と体の関係に気付く 課題に応じた活動を選ぶ スポーツテスト 50m走 持久走 反復横跳び 立ち幅跳び 長座体前屈 握力 上体起こし ハンドボール投げ	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	13	陸上競技	短距離走 リレー競技 ハードル走など ※クラウチングスタート、滑らかな動き、リズムカルな動き リレー:バトンパス など。 ハードル走:50mハードル ハードリング、インターバルなど課題に応じた練習	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	9	水泳	クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライの基本練習、記録測定など ※手足の動き、呼吸、速く泳ぐ、長く泳ぐ	
	3	体育理論	文化としてのスポーツの意義	学習ノートの活用 学習ノートでまとめる
2 学期	11	球技	ゴール型 ※ゲームを楽しく行うための基本技術の習得 パス・シュート・ボールを持たないときの動き等。	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	11	球技	ネット型 ※ゲームを楽しく行うためのチームプレーの習得 ルールを覚え、審判や選手としてゲームを実践・運営する。 攻防を展開するためのボール操作、攻撃・守備の動き スパイク・ラリーや3段攻撃などのボール操作 等	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	10	創作ダンス	テーマにふさわしいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現する	
	15	保健編	健康と環境 健康の成り立ちと疾病の予防⑤	学習ノートの活用 学習ノートでまとめる
3 学期	10	陸上競技	長距離走 呼吸法、距離走、時間走、各種トレーニング方法 など	学習カードの活用 自己評価・次回の課題の確認
	11	球技	ゴール型 ※ゲームを楽しく行うための基本技術の習得 パス・シュート・トラップ等。	グループ別活動 種目別・グループ別による活動。互いに教えあう。
	1	保健編	健康の成り立ちと疾病の予防①	学習ノートの活用

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料	割合
知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論および文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解しているとともに、体力の高め方、運動の観察方法、安全確保の方法など、運動の特性に各運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	運動の特性や合理的な実践、日常生活・生涯における運動の意義を理解し、知識を身に付けさせる。 運動の楽しさや喜び、できたときの達成感を味わわせるために必要な、技能や体力を高めるための適切な行い方を身に付けさせる。	実技テスト 測定記録 試合の中の動き 期末考査(筆記テスト) 学習カードの記入内容 レポートの記入内容	1/3
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	自己や仲間の能力に適した運動の課題解決を目指して活動の仕方を考え、工夫させるとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力をつけさせる。健康・安全について科学的に思考・判断し他者に伝える力をつけさせる。	練習への取り組み方 実技テスト 試合結果 期末考査(筆記テスト) 学習カードの記入内容 レポートの記入内容	1/3
主体的に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育てる。 自主的に運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得させ、日常生活・生涯において、健康・安全に関心をもち、自己の最善を尽くして運動する態度を養う。	授業に取り組む姿勢(安全を考慮した身だしなみ、準備運動への取り組み等) 練習への取り組み姿勢(自己の課題に粘り強く取り組む、仲間と協力する等) 学習カードの記入内容 レポートの記入内容	1/3

※学習のアドバイス

- ・授業規律(授業時間の厳守・服装など授業準備をする・話を聞く姿勢等)をしっかり守る。
- ・安全に留意し、各種の運動の特性を考え意欲的に取り組む。
- ・学習カードで各単元の目標を理解し、授業に取り組み、振り返りを行う。
- ・保健分野では、保健学習ノートを活用して復習をする。

月	時間	単元	学習内容	指導の工夫点
1 学 期	6	プログラムによる計測・制御 (オーロラクロックの製作)	・計測・制御の仕組み ・プログラムの役割	・プリントの活用 ・制御には、大きく分けて手動制御と自動制御があることを知らせる。
2 学 期	8	プログラムによる計測・制御	3 制御プログラム 4 計測・制御プログラム	・人間が判断し行動している部分は、センサやコンピュータが担っていることを伝える。 ・コンピュータに命令をするためにはプログラムが必要であるということを知る。 ・情報処理の手順を考える方法としてフローチャートを知り、情報処理の手順には順次、反復、分岐があることを知る。 ・フローチャートを用いるときに使う代表的な記号と基本事項を知らせる。 ・計測・制御システムを利用した機器の例を基に、その動作をフローチャートで表す。
3 学 期	5	情報技術の評価・活用 (スプレッドシートの活用)	1 情報に関する技術を未来に生かそう	・未来に向け、技術の評価・活用する目の大切さを意識させる。 ・人、社会、環境(経済、持続可能な社会など)の視点で、常に技術の評価・活用する目を養うことの大切さに気づかせる。

評価計画

評価の観点	観点の内容	観点の指導目標	評価材料
知識・技能	・生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関りについて理解している。	・情報に関する技術に関する技術についての基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 ・情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・定期考査 ・プリントの内容 ・レポートの内容 ・製作品の丁寧さ・綺麗さ
思考・判断・表現	・生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見付けるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術の評価し活用している。	・定期考査 ・授業評価シート ・プリントの内容 ・レポートの内容
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。	・情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題解決のために、主体的に技術の評価し活用しようとする。	・プリントの内容 ・レポートの内容 ・授業ノートの内容

※学習のアドバイス

- ・作業・実習では、「安全第一」で行います。しっかりと先生の話聞き、上手にできるコツをつかみ、けがなく安全で楽しい作業・実習となるように取り組みましょう。

